科目	真宗学	開講時期 履修方法	
担当者	青木 玲		講義 2単位
授業概要	「正信偈」を読むことを通して、親鸞が明らかにした仏道を学ぶ。前期は、 本授業は仏教学科の学習成果(1)に対応する。		
到達目標	「正信偈」の内容を踏まえて、勤行ができるようになる。 本授業によって、仏教学科の学習成果(1)を得ることができる。		
学習成果の 評価基準	到達目標に達しているか確認するために、到達目標確認試験を行い評価する	გ .	
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習
1 .	授業概要	間)	冒:「授業要覧」を読む(2時
2 .	「正信偈」とは何か	字記 復習	・授業を振り返り、疑問点を ・テキストを読む(2時間) ・授業を振り返り、疑問点を なする(2時間)
3 .	偈前の文	予習	:テキストを読む(2時間) 3:授業を振り返り、疑問点を 3する(2時間)
4 .	帰命無量寿如来	予習	3.2 (全部周) 留:テキストを読む(2時間) 習:授業を振り返り、疑問点で 図する(2時間)
5 .	南無不可思議光	予習	89 8 (2時間) 習:テキストを読む(2時間) 習:授業を振り返り、疑問点で 認する(2時間)
6.	法蔵菩薩因位時	予習	』:テキストを読む(2時間) 3:授業を振り返り、疑問点な
7.	五劫思惟	予習	3する(2時間) 3:テキストを読む(2時間) 3:授業を振り返り、疑問点で 3 まえくの時間)
8.	名声十方に聞こえん	予習	3する(2時間) 3:テキストを読む(2時間) 3:授業を振り返り、疑問点々 3する(2時間)
9 .	十二光	予習 復習	39 3(245周) 3:テキストを読む(2時間) 3:授業を振り返り、疑問点で 3する(2時間)
10 .	本願名号正定業	予習	8: テキストを読む(2時間) 習:授業を振り返り、疑問点で 認する(2時間)
11 .	至心信楽の願	予習	39 る(2時間) 3:テキストを読む(2時間) 3:授業を振り返り、疑問点で 3する(2時間)
12 .	現生正定聚	予習 復習	:テキストを読む(2時間) 3:授業を振り返り、疑問点な
13 .	必至滅度の願	予習	3する(2時間) 3:テキストを読む(2時間) 3:授業を振り返り、疑問点₹ 3する(2時間)
14 .	到達目標確認試験	予習 復習	:テキストを読む(2時間) 3:授業を振り返り、疑問点な
15 .	前期のまとめ	予習 復習	3する(2時間) 2:テキストを読む(2時間) 3:授業を振り返り、疑問点で 3する(2時間)
教科書	『真宗聖典』、『正信偈』(東本願寺出版)	10年前	V (15 10 +4 ×)
参考書	□ 注集化 中 / 「「○○ / 〉 「○ 本 本 本 本 本 本 本 本 本		
評価方法 記すべき	受講態度(50%) 到達目標確認試験(50%)		
事項 調·椎絝			

科目	真宗学	開講時期 履修方法	
担当者	青木 玲	 授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	「正信偈」を読むことを通して、親鸞が明らかにした仏道を学ぶ。後期は、依経原本授業は仏教学科の学習成果(1)に対応する。		
到達目標	「正信偈」の内容を踏まえて、勤行ができるようになる。 本授業によって、仏教学科の学習成果(1)を得ることができる。		
学習成果の 評価基準	到達目標に達しているか確認するために、到達目標確認試験を行い評価する。		
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習
1 .	弥陀章と釈迦章	復習	3: テキストを読む(2時間) 3: 授業を振り返り、疑問点を なする(2時間)
2 .	出世本懷	予型 復習	89 3 (24년8) 習:テキストを読む(2時間) 習:授業を振り返り、疑問点を 忍する(2時間)
3 .	出世本懷	予2 復2	智:テキストを読む(2時間) 習:授業を振り返り、疑問点を
4 .	不断煩悩得涅槃	予習	なする(2時間) 習:テキストを読む(2時間) 図:授業を振り返り、疑問点を
5 .	五逆・謗法・闡提	予2 復2	なする(2時間) ヨ:テキストを読む(2時間) ヨ:授業を振り返り、疑問点を
6 .	海一味	予2 復2	図する(2時間) 習:テキストを読む(2時間) 習:授業を証明返り、疑問点を
7 .	摂取の心光	予習	図する(2時間) 習:テキストを読む(2時間) 習:授業を証明返り、疑問点を
8 .	貪愛・瞋憎の雲霧	予2 復2	図する(2時間) 習:テキストを読む(2時間) 図:授業を振り返り、疑問点を
9 .	獲信見敬大慶喜	予2 復2	図する(2時間) 習:テキストを読む(2時間) 習:授業を証別返り、疑問点を
10 .	獲信見敬大慶喜	予2 復2	図する(2時間) 習:テキストを読む(2時間) 図:授業を振り返り、疑問点を
11 .	分陀利華	予2 復2	図する(2時間) 習:テキストを読む(2時間) 図:授業を振り返り、疑問点を のオス(2時間)
12 .	邪見憍慢悪衆生	予2 復2	図する(2時間) 習:テキストを読む(2時間) 図:授業を振り返り、疑問点を
13 .	難中の難	予2 復2	烈する(2時間) 習:テキストを読む(2時間) 図:授業を振り返り、疑問点を 図 + 3 (2018)
14 .	到達目標確認試験	予2 復2	図する(2時間) 習:テキストを読む(2時間) 図:授業を振り返り、疑問点を
15 .	後期のまとめ	予2 復2	図する(2時間) 習:テキストを読む(2時間) 図:授業を振り返り、疑問点を のオス(2時間)
教科書	『真宗聖典』、『正信偈』(東本願寺出版)		忍する(2時間)
参考書 学習成果の	受講態度(50%) 到達目標確認試験(50%)		
<u>評価方法</u> 特記すべき 事 項			
質問・相類 の 受 付			

科目	真宗聖教講読		1年前期 必修、専門科目
担当者	青木 玲	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	『歎異抄』を読むことを通して、親鸞聖人が明らかにした仏道を学ぶ。前期は、前序、らノートを作成する。 本授業は仏教学科の学習成果(3)に対応する。		
到達目標	『歎異抄』の音読ができ、その内容について理解できるようになる。 本授業によって、仏教学科の学習成果(3)を得ることができる。		
学習成果の 評価基準	到達目標に達しているか確認するために、到達目標確認試験を行い評価する。		
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習
1 .	授業概要	予習 復習 (30	: シラバスを読む(30分) : 授業概要の内容を振り返る
2 .	『歎異抄』とは何か	予習 復習	: テキストを読む(30分) : 授業を振り返り、疑問点を
3 .	前序 本文を読み、語句の意味を理解する	予習 復習	する(30分) :テキストを読む(30分) :授業を振り返り、疑問点を
4 .	前序 本文を読み、語句の意味を理解する	予習 復習	する(30分) : テキストを読む(30分) : 授業を振り返り、疑問点を
5 .	前序 本文を読み、本文の内容を理解する	予習 復習	する (30分) :テキストを読む (30分) :授業を振り返り、疑問点を
6 .	第1条 本文を読み、語句の意味を理解する	予習 復習	する(30分) :テキストを読む(30分) :授業を振り返り、疑問点を
7.	第1条 本文を読み、語句の意味を理解する	予習 復習	する(30分) : テキストを読む(30分) : 授業を振り返り、疑問点を する(30分)
8 .	第1条 本文を読み、本文の内容を理解する	予習 復習	9 る(30万) :テキストを読む(30分) :授業を振り返り、疑問点を する(30分)
9.	第1条 本文を読み、本文の内容を理解する	予習 復習	ッる(30カ) :テキストを読む(30分) :授業を振り返り、疑問点を する(30分)
10 .	第2条 本文を読み、語句の意味を理解する	予習 復習	・テキストを読む(30分) :授業を振り返り、疑問点を する(30分)
11 .	第2条 本文を読み、語句の意味を理解する	予習 復習	9 る(30万) :テキストを読む(30分) :授業を振り返り、疑問点を する(30分)
12 .	第2条 本文を読み、本文の内容を理解する	予習 復習	9 る(30万) :テキストを読む(30分) :授業を振り返り、疑問点を する(30分)
13 .	第2条 本文を読み、本文の内容を理解する	予習 復習	9 る(30万) :テキストを読む(30分) :授業を振り返り、疑問点を する(30分)
14.	到達目標確認試験	予習 復習	9 る(30万) :テキストを読む(30分) :授業を振り返り、疑問点を する(30分)
15 .	前期のまとめ	予習 復習	・テキストを読む(30分) :授業を振り返り、疑問点を する(30分)
教科書	『真宗聖典』、『歎異抄』(東本願寺出版)、『古語林』、『新漢語林』、『岩波仏教辞典』	中田 即心	, o (oo),)
参考書	三明智彰『歎異抄講義(上)』(法蔵館)		
評価方法	受講態度(50%) 到達目標確認試験(50%)		
特記すべき事項			
聞·相類 の 受 付			

科目	真宗聖教講読	開講時期 履修方法	1年後期 必修、専門科目
担当者	青木 玲	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	『歎異抄』を読むことを通して、親鸞聖人が明らかにした仏道を学ぶ。後期は、第3~作成する。 作成する。 本授業は仏教学科の学習成果(3)に対応する。	5条を読み、	語句を調べながらノートを
到達目標	『歎異抄』の音読ができ、その内容について理解できるようになる。 本授業によって、仏教学科の学習成果(3)を得ることができる。		
学習成果 <i>の</i> 評価基準	到達目標に達しているか確認するために、到達目標確認試験を行い評価する。		
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習
1 .	前期の復習	復習	:テキストを読む(30分) :授業を振り返り、疑問点を する(30分)
2 .	第3条 本文を読み、語句の意味を理解する	予習 復習	:テキストを読む(30分) :授業を振り返り、疑問点を する(30分)
3 .	第3条 本文を読み、語句の意味を理解する	予習 復習	:テキストを読む(30分) :授業を振り返り、疑問点を する(30分)
4 .	第3条 本文を読み、本文の内容を理解する	予習 復習	¦:テキストを読む(30分) ¦:授業を振り返り、疑問点を
5 .	第3条 本文を読み、本文の内容を理解する	予習 復習	する(30分) :テキストを読む(30分) :投業を終り返り、疑問点を
6.	第4条 本文を読み、語句の意味を理解する	予習 復習	する(30分) :テキストを読む(30分) :女子の10返り、疑問点を
7 .	第4条 本文を読み、語句の意味を理解する	予習 復習	する (30分) :テキストを読む (30分) :授業を振り返り、疑問点を ************************************
8 .	第4条 本文を読み、本文の内容を理解する	予習 復習	する(30分) :テキストを読む(30分) :授業を振り返り、疑問点を :オス(20八)
9 .	第4条 本文を読み、本文の内容を理解する	予習 復習	する(30分) :テキストを読む(30分) :授業を振り返り、疑問点を する(30分)
10 .	第5条 本文を読み、語句の意味を理解する	予習 復習	¦:テキストを読む(30分) ¦:授業を振り返り、疑問点を
11 .	第5条 本文を読み、語句の意味を理解する	予習 復習	する(30分) :テキストを読む(30分) :授業を振り返り、疑問点を する(30分)
12 .	第5条 本文を読み、本文の内容を理解する	予習 復習	(9 a (30万) : テキストを読む(30分) : 授業を振り返り、疑問点を する(30分)
13 .	第5条 本文を読み、本文の内容を理解する	予習 復習	(9 る (30万) : テキストを読む (30分) : 授業を振り返り、疑問点を する (30分)
14 .	到達目標確認試験 	予習 復習	¦:テキストを読む(30分) ¦:授業を振り返り、疑問点を
15 .	後期のまとめ	予習 復習	する(30分) :テキストを読む(30分) :授業を振り返り、疑問点を する(30分)
教科書	『真宗聖典』、『歎異抄』(東本願寺出版)、『古語林』、『新漢語林』、『岩波仏教辞典』	THE DIS	7 2 8 (OO) J
参考書	三明智彰『歎異抄講義(上)』(法蔵館)		
学習成果の 評 価 方 法			
特記すべき事項			
要 塩 質問・椎類 の 受 付			

科目	仏教学概説	開講時期 履修方法	1 年前期 必修、専門科目
担当者	吉元信暁		2単位
受業概要	私たちは自分の思いに先立って願われている存在である。そのことを『大無量備・講義・学習・攻究を通して明らかにしていく。この科目は「仏典講読」本授業は仏教学科の学習成果(1)に対応する。	寿経』本願文(第− と連動して行われる	-願から第五願)に尋ね、準 3。
]達目標	本願文の学習を通して、すべての科目の基本軸として、出遇うべき仏教の精神	を確認することがで	できる。
習成果の 評価基準	・知識の達成度を測るために、小テストを実施して評価する。 ・思考力、判断力、表現力の達成度を測るために、毎回の振り返りを実施して	評価する。	
	授業計画(授業内容)	_	授業時間外学習 予習・復習
1 .	ガイダンス: 前期の授業の進め方	間)	3:ノートを準備する(2時
2 .	講義:仏教ってなに?	予習	3:授業の振り返り(2時間) 3:予習ノート作成(願文、 ○し文、語註)(2時間) 3:授業の振り返り(2時間)
3.	攻究:仏教ってなに?	予	a:講義ノートを作成する(:
4 .	講義:本願ってなに?	き下 復習	習:予習ノート作成(願文、 「し文、語註)(2時間) 習:授業の振り返り(2時間)
5.	攻究:本願ってなに? 	一時間	習:講義ノートを作成する(問) 習:授業の振り返り(2時間)
6.	講義:第一願 無三悪趣之願	予習します。	習:予習ノート作成(願文、 「し文、語註)(2時間) 習:授業の振り返り(2時間)
7.	攻究:どこから出発するの?	間) 復習	冒:授業の振り返り (2時間)
8 .	講義:第二願 不更悪趣之願	十き	習:予習ノート作成(願文、 「し文、語註)(2時間) 習:授業の振り返り(2時間)
9 .	攻究: どのように生きるの?	時間	冒:講義ノートを作成する(引) 冒:授業の振り返り(2時間)
10 .	講義:第三願 悉皆金色之願	き下 復習	習:予習ノート作成(願文、 「し文、語註)(2時間) 習:授業の振り返り(2時間)
11 .	攻究: 平等ってどういうこと?	時間 復習	習:授業の振り返り(2時間)
12 .	講義:第四願 無有好醜之願	き下海の	習:予習ノート作成(願文、 「し文、語註)(2時間) 習:授業の振り返り(2時間)
13 .	攻究: どうすれば差別の心を破れるの?	予 習 予習 時間	冒:講義ノートを作成する(2 引) 冒:授業の振り返り(2時間)
14 .	講義:第五願 宿命智通之願	予習 き下 復習	習:予習ノート作成(願文、 「し文、語註)(2時間) 習:授業の振り返り(2時間)
15 .	攻究:あなたはホントに自分がわかっていますか?	時間	習:講義ノートを作成する(だ 閉) 習:授業の振り返り(2時間)
教科書	『本願文(上)』(大阪教区伝研の会)、『真宗聖教全書一』、『真宗聖典』、『岩波伝	丛教辞典』、『新漢語 	林』
参考書 習成果の	毎回の振り返り(40%) 小テスト(30%) 授業内発表(30%)		
平価方法	 授業内でClassroomを使います。事務室でiPadを借りるか、自分のスマートフォンを用意	1 ナノ かさい	

科目	仏教学概説		1 年後期 必修、専門科目
担当者	吉元信暁		2単位
授業概要	私たちは自分の思いに先立って願われている存在である。そのことを『大無備・講義・学習・攻究を通して明らかにしていく。この科目は「仏典講読本授業は仏教学科の学習成果(1)に対応する。	∃量寿経』本願文(第− 」と連動して行われる	-願から第五願)に尋ね、準 3。
到達目標	本願文の学習を通して、すべての科目の基本軸として、出遇うべき仏教の精	う神を確認することがで	できる。
学習成果の 評価基準	・知識の達成度を測るために、小テストを実施して評価する。 ・思考力、判断力、表現力の達成度を測るために、毎回の振り返りを実施し	って評価する。	
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習
1 .	ガイダンス 後期の授業の進め方	予 間) 間)	3: ノートを準備する(2時 復習: 授業を振り返る(2時
2 .	講義:第六願 天眼智通之願	予習 き7	冒:予習ノート作成(願文、書 ○し文、語註)(2時間) 冒:授業の振り返り(2時間)
3 .	攻究:あなたはホントに眼差しを向けたことがありますか?	予選 予選 時間	3:講義ノートを作成する(2
4 .	講義:第七願 天耳智通之願	予習します。	習: 予習ノート作成(願文、 こし文、語註)(2時間) 日: 授業の振り返り(2時間)
5.	攻究:あなたはホントに耳を傾けて聞き取ったことがありますか?	予習	習:講義ノートを作成する(2
6 .	講義:第八願 他心智通之願	予習します。	3 : 水深で派り座の(25月) 習: 予習ノート作成(願文、 「し文、語註)(2時間) 習: 授業の振り返り(2時間)
7 .	攻究:あなたはホントに人間がわかっていますか?	予習 時間	習:講義ノートを作成する(2
8 .	講義:第九願 神足智通之願	予習を予める。	・ 万米 C.M.ノ C.O. (
9.	 攻究:あなたはホントに思いのままに行動できますか? 	予習 時間	3:講義ノートを作成する(2
10 .	講義:第十願 漏尽智通之願	予習を	習:予習ノート作成(願文、 □し文、語註)(2時間) 習:授業の振り返り(2時間)
11 .	攻究:あなたはホントに人間を敬愛できますか?	予習 時間	3:講義ノートを作成する(2
12 .	講義:第十一願 必至滅度之願	予習を予	『: 予習ノート作成(願文、書: 予習ノート作成(願文、書: し文、語註)(2時間) 『: 授業の振り返り(2時間)
13 .	攻究:仏教は生き方を尋ねる道	予習 時間	3:講義ノートを作成する(2
14 .	講義:第十一願 必至滅度之願	予習を予	『: 予習ノート作成(願文、 『し文、語註)(2時間) 『: 授業の振り返り(2時間)
15 .	攻究:仏教は生き方を尋ねる道	予習 時間	3:講義ノートを作成する(2
教科書	『本願文(上)』(大阪教区伝研の会)、『真宗聖教全書一』、『真宗聖典』、『岩		
平価方法			
	授業内でClassroomを使います。事務室でiPadを借りるか、自分のスマートフォンをF	用意してくだ <mark>さい。</mark>	

科目	仏教基礎学	開講時期 履修方法	
担当者	菊池 晃	授業形態 単位数	講義 2単位
	古代インドにおける仏教の誕生、そして大乗仏教への展開までを概説する。特に 心に学習し、そこに説かれる釈尊の教えを学んでいく。	仏教の成立を釈真	算の生涯、主に八相成道を中
授業概要	本授業は仏教学科の学習成果(1)に対応する。		
到達目標	釈尊の生涯と教えを通して、仏教の基本的な考え方や姿勢を理解することができ	53.	
学習成果の 評価基準	到達目標の達成度を測るため、定期試験を実施し評価する。		
	授業計画(授業内容)	_	授業時間外学習 予習・復習
1 .	授業概要	予習問	: 「授業要覧」を読む(2時
2 .	古代インドの社会と思想(1)		: 授業を振り返る(2時間) 3: テキストを読む(2時間) 3: 授業を振り返る(2時間)
3.	古代インドの社会と思想(2)	予習 復習	3 : テキストを読む(2時間) 3 : 授業を振り返る(2時間)
4 .	釈尊の生涯(1) 誕生	予習	: テキストを読む (2時間) : 授業を振り返る (2時間)
5.	釈尊の生涯(2) 出家	予 習 復 習	:テキストを読む(2時間) :授業を振り返る(2時間)
6.	釈尊の生涯(3) 苦行・成道	予習 復習	:テキストを読む(2時間) :授業を振り返る(2時間)
7 .	釈尊の生涯(4) 初転法輪	予 習 復習	:テキストを読む(2時間) :授業を振り返る(2時間)
8.	釈尊の生涯(5) 仏弟子と僧伽	予 習 復 習	:テキストを読む(2時間) :授業を振り返る(2時間)
9.	釈尊の教え(1) 縁起	予習 復習	:テキストを読む(2時間) :授業を振り返る(2時間)
10 .	釈尊の教え(2) 四諦八正道	予 習 復習	:テキストを読む(2時間) :授業を振り返る(2時間)
11 .	釈尊の教え(3) 四法印		:テキストを読む(2時間) :授業を振り返る(2時間)
12 .	釈尊の教え(4) 対機説法	予習 多 習	:テキストを読む(2時間) :授業を振り返る(2時間)
13 .	釈尊の入滅と結集 	·····································	:テキストを読む(2時間) :授業を振り返る(2時間)
14 .	大乗仏教への展開	·····································	:テキストを読む(2時間) :授業を振り返る(2時間)
15 .		·····································	:テキストを読む(2時間) :授業を振り返る(2時間)
教科書	 『釈尊 生涯と教え』『真宗聖典』『改訂大乗の仏道-仏教概要-』 		
参考書	- 『改訂大乗の仏道-仏教概要-資料編』 - 『		
学習成果の 評価方法 特記すべき	受講態度(40%) 定期試験(60%)		
事 質問·椎族等			

科目	仏典講読	開講時期 履修方法	1年前期 必修、専門科目
担当者	調 友希雄	授業形態	演習 1単位
授業概要	私たちは自分の思いに先立って願われている存在である。そのことを『大無量寿経』 備・輪読・学習・攻究・発表を通して明らかにしていく。この科目は「仏教学概説本授業は仏教学科の学習成果(3)に対応する。	・ ・本願文(第- ・」と連動して	- - 願から第五願)に尋ね、準 - 行われる。
到達目標	本願文の学習を通して、すべての科目の基本軸として、出遇うべき仏教の精神を確認	認することがで	できる。
学習成果の 評価基準	到達目標に明示している「仏教の精神を確認することができる」の達成度を測るため	めに、定期試験	倹を実施し評価する。
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習
1 .	ガイダンス: 前期の授業の進め方	予習 復習	: ノートを準備する(30分) : 授業を振り返る(30分)
2 .	 輪読:仏教ってなに? 	一	3:予習ノート作成(願文、書 「し文、語註)(30分) 3:授業を振り返る(30分)
3 .		予習 分)	冒:攻究ノートを作成する(30
4 .	輪読:本願ってなに?	予習	:予習ノート作成(願文、書 □し文、語註)(30分) 『:授業を振り返る(30分)
5.	攻究:本願ってなに?	予習 分)	冒:攻究ノートを作成する(30
6.	輪読:第一願 無三悪趣之願	予習 き下	冒:予習ノート作成(願文、書 □ し文、語註)(30分) 冒:授業を振り返る(30分)
7.	攻究:どこから出発するの?	分)	習:攻究ノートを作成する(30 習:授業を振り返る(30分))
8.	輪読:第二願 不更悪趣之願	き下 復習	習:予習ノート作成(願文、書 □ し文、語註)(30分) 習:授業を振り返る(30分)
9.	攻究:どのように生きるの?	分) 復習	3:授業を振り返る(30分)
10 .	輪読:第三願 悉皆金色之願	き下 復習	3:予習ノート作成(願文、書 し文、語註)(30分) 3:授業を振り返る(30分)
11 .	攻究: 平等ってどういうこと?	分) 復習	冒:授業を振り返る(30分)
12 .	輪読:第四願 無有好醜之願 	き下 復習	3:予習ノート作成(願文、書 「し文、語註)(30分) 3:授業を振り返る(30分)
13 .	攻究:どうすれば差別の心を破れるの?	分)	3:攻究ノートを作成する(30 3:授業を振り返る(30分)
14 .	輪読:第五願 宿命智通之願	予習	冒:予習ノート作成(願文、書 □ し文、語註)(30分) 冒:授業を振り返る(30分)
15 .	攻究:あなたはホントに自分がわかっていますか?	予習 分)	冒:攻究ノートを作成する(30
教科書	『本願文(上)』(大阪教区伝研の会)、『真宗聖教全書一』、『真宗聖典』		
参考書	『岩波仏教辞典』、『新漢語林』		
評価方法 特記すべき	受講態度(30%) 授業内発表(20%) 定期試験(30%) ノート提出(20%)		
事 項	 授業前後に、授業場所あるいは学修支援室にて受け付ける また、電話、メール等でも受け付		

科目	仏典講読	開講時期 履修方法	1 年後期 必修、専門科目
担当者	調 友希雄		演習 1単位
授業概要	私たちは自分の思いに先立って願われている存在である。そのことを『大無準備・輪読・学習・攻究・発表を通して明らかにしていく。この科目は「仏本授業は仏教学科の学習成果(3)に対応する。	量寿経』本願文(第7 教学概説 」と連動し	、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、
到達目標	本願文の学習を通して、すべての科目の基本軸として、出遇うべき仏教の精	神を確認することが「	できる。
学習成果の 評価基準	到達目標に明示している「仏教の精神を確認することができる」の達成度を	測るために、定期試験	験を実施し評価する。
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習
1 .	ガイダンス 後期の授業の進め方	予習 復習	音: ノートを準備する(30分) 音: 授業を振り返る(30分)
2 .	輪読:第六願 天眼智通之願	「きー	習:予習ノート作成(願文、書 「し文、語註)(30分) 習:授業を振り返る(30分)
3 .	攻究:あなたはホントに眼差しを向けたことがありますか?	予習	習:攻究ノートを作成する(30 ≀
4 .		予覧を対象を	3:授業を振り返る(30分) 3:予習ノート作成(願文、書 こし文、語註)(30分)
5 .	攻究:あなたはホントに耳を傾けて聞き取ったことがありますか?	予習分)	3:授業を振り返る(30分) 3:攻究ノートを作成する(30 3: 収光ナモロにス (2007)
6 .	輪読:第八願 他心智通之願 	予 で う う う う で う で う た う し う う う う う う う う う う う う う う う う	3:授業を振り返る(30分) 3:予習ノート作成(願文、書 こし文、語註)(30分)
7 .	攻究:あなたはホントに人間がわかっていますか?	予習分)	
8 .		予 記 う さ 1 き 1	習:授業を振り返る(30分) 習:予習ノート作成(願文、書 ぶし文、語註)(30分) スト授業を担ける20分)
9 .	攻究:あなたはホントに思いのままに行動できますか? 	予 習	習:授業を振り返る(30分) 習:攻究ノートを作成する(30) ○ ○
10 .	輪読:第十願 漏尽智通之願	予覧を行っている。	3:授業を振り返る(30分) 3:予習ノート作成(願文、書 3:切(30分) 3:切(30分)
11 .	攻究:あなたはホントに人間を敬愛できますか? 	予習分)	習:授業を振り返る(30分) 習:攻究ノートを作成する(30 3: 授業を振り返る(20分)
12 .		予覧を行っている。	習:授業を振り返る(30分) 習:予習ノート作成(願文、書 ぶし文、語註)(30分) 3:短業を振り返る(20分)
13 .	攻究:仏教は生き方を尋ねる道	予習分)	習:授業を振り返る(30分) 習:攻究ノートを作成する(30) ・授業を持つたる(20分))
14 .	輪読:第十一願 必至滅度之願 	予覧を行っている。	習:授業を振り返る(30分)) 習:予習ノート作成(願文、書 ぶし文、語註)(30分) ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
15 .	攻究:仏教は生き方を尋ねる道	予習分)	3:授業を振り返る(30分) 3:攻究ノートを作成する(30 3:接業を集り返る(20分)
教科書	『本願文(上)』(大阪教区伝研の会)、『真宗聖教全書一』、『真宗聖典』	侵官	習:授業を振り返る(30分)
参考書	 『岩波仏教辞典』、『新漢語林』 		
学習成果の評価方法	受講態度(30%) 授業内発表(20%) 定期試験(30%) ノート提出(20%)		
בי לחוניו			

科目	仏典講読		1年前期 選択、専門科目
担当者	中島 航	授業形態単位数	演習 1単位
授業概要	浄土三部経の中の『観無量寿経』の序分をノートを作りながら漢文で読み、そ母縁」までを読む。 本授業は仏教学科の学習成果(3)に対応する。	の内容を学んでいく	、。前期は「発起序」の「禁
到達目標	・『観無量寿経』について理解することができ、「禁母縁」までの漢文を声に ・漢和辞典や仏教辞典を使って経典の言葉を調べ、意味を取り、自らの課題を	ご出して読み、書き ⁻ ∈深めることができ <i>る</i>	下すことができる。(知識) る。(思考力、判断力)
学習成果の 評価基準	・知識の達成度を測るために、読みの試験を実施し評価する。 ・思考力、判断力の達成度を測るために、毎回の振り返りや小テストを実施し)評価する。	
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習
1 .	ガイダンス シラバスの確認	予習 復習 る (3:シラバスを読む(30分) 3:ガイダンスの内容を振り近 30分)
2.	『観無量寿経』とは何か(1)		3:ノートを作成する(30分) 3:授業内容を振り返る(30
3.	『観無量寿経』とは何か(2) 小テスト	구 ^교	習:ノートを作成する(30分) 習:授業内容を振り返る(30
4 .	化前序(1)		習: ノートを作成する (30分) 習: 授業内容を振り返る (30
5.	化前序(2) 読みの試験	予習	習: ノートを作成する(30分) 習: 授業内容を振り返る(30
6 .	「禁父縁」(1)	予 習 予 習	冒: ノートを作成する(30分) 冒: 授業内容を振り返る(30
7.	「禁父縁」(2)	予習	3: ノートを作成する(30分) 3: 授業内容を振り返る(30
8.	「禁父縁」(3) 小テスト	予習	習: ノートを作成する(30分) 習: 授業内容を振り返る(30
9.	「禁父縁」(4)	予習	3: ノートを作成する(30分) 3: 授業内容を振り返る(30
10 .	「禁父縁」(5) 読みの試験	予習	習: ノートを作成する(30分) 習: 授業内容を振り返る(30
11 .	「禁母縁」(1)	予習	3: ノートを作成する(30分) 3: 授業内容を振り返る(30
12 .	「禁母縁」(2)	予習	3: ノートを作成する(30分) 3: 授業内容を振り返る(30
13 .	「禁母縁」(3) 小テスト	- 予習	習:ノートを作成する(30分) 習:授業内容を振り返る(30
14 .	「禁母縁」(4)	予習	3: ノートを作成する(30分) 3: 授業内容を振り返る(30
15 .	「禁母縁」(5) 読みの試験	予習	習: <mark>ノートを作成する(30分)</mark> 習:授業内容を振り返る(30
教科書	『真宗聖教全書一』、『真宗聖典』、『新漢語林』、『岩波仏教辞典』、『現代の聖典	1 - 7	
参考書	振り返り(40%) 読みの試験(30%) 小テスト(30%)		
習成果の平価方法	INC 2 (40 /0) Dico 3 Haigh (00 /0) 1.7 X (00 /0)		

科目		開講時期 夏修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者		受業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	浄土三部経の中の『観無量寿経』の序分をノートを作りながら漢文で読み、その内容を学 苦縁」から序分の終わりまでを読む。 本授業は仏教学科の学習成果(3)に対応する。		· .—
到達目標	・『観無量寿経』「序分」の終わりまでの漢文を声に出して読み、書き下すことができる ・漢和辞典や仏教辞典を使って経典の言葉を調べ、意味を取り、自らの課題を深めること	。(知記 こができる	哉) る。(思考力、判断力)
学習成果 <i>0.</i> 評価基準	・知識の達成度を測るために、読みの試験を実施し評価する。 ・思考力、判断力の達成度を測るために、毎回の振り返りや小テストを実施し評価する。		
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習
1 .	「是旃陀羅」の学び	予習 (3)	予 習・復習 習:前期の授業内容を振り返る 0分)
2 .	「厭苦縁」(1)	 	0分) 3:授業内容を振り返る(30 3:ノートを作成する(30分) 3:授業内容を振り返る(30
3 .	「厭苦縁」(2)	分) 予習 復習 分)	習: ノートを作成する(30分) 習: 授業内容を振り返る(30
4 .	「厭苦縁」(3)	予習	習: ノートを作成する(30分) 習: 授業内容を振り返る(30
5.	「厭苦縁」(4)	予習 復習 分)	習: ノートを作成する(30分) 習: 授業内容を振り返る(30
6.	「厭苦縁」(5)	復習 分)	
7.	「厭苦縁」(6)	復習 分)	習: ノートを作成する(30分) 習: 授業内容を振り返る(30
8.	「欣浄縁」(1)	復習 分)	
9 .	「欣浄縁」(2)		
10 .	「欣浄縁」(3)		
11 .	「欣浄縁」(4)		
12 .	「散善顕行縁」(1) 	復習 分)	
13 .	「散善顕行縁」(2) 	復習 分)	
14 .	「定善示観縁」(1) 	復習 分)	
15 .	「定善示観縁」(2)	予習 復習 分)	習: ノートを作成する(30分) 習: 授業内容を振り返る(30
教科書	『真宗聖教全書一』、『真宗聖典』、『新漢語林』、『岩波仏教辞典』、『現代の聖典』(東本願寺	出版)	
参考書 学習成果の	振り返り(40%) 読みの試験(30%) 小テスト(30%)		
<u>評 価 方 法</u> 特記すべき			
事 項	 授業後、研究室、九州大谷Online等、いずれの方法も可。		

斗 目	真宗史		1年前期 必修、専門科目
旦当者	武井弥弘	授業形態 単位数	演習 1単位
美概要	親鸞は、平安時代末期から鎌倉時代にかけて90年の生涯を送った。では、どの添いながら、親鸞の生涯と教えについて学ぶ。各章担当を決めて発表する。本授業は仏教学科の学習成果(5)に対応する。	Dような生涯を送っ <i>た</i>	Eのか。『宗祖親鸞聖人』に
達目標	発表・質疑応答を通して、親鸞の生涯が理解できるようになる。 本授業によって、仏教学科の学習成果(5)を得ることができる。		
³ 成果の 価基準	 授業での発表・質疑応答を「受講態度」の評価とする。 到達目標に達しているか確認するために、到達目標確認試験を行い評価する。 		
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習
1 .	授業概要	分)	3: 「授業要覧」を読む(3
2 .	発表資料の作り方	字記 字記 復習	1 - 学秀宗吹く巻く、本田の 2 : テキストを読む(30分) 3 : 授業を振り返り、疑問点 3 する(30分)
3 .	第1章 人と生まれて	- 予習 - 予習 - 復習	3 : テキストを読む(30分) 習:授業を振り返り、疑問点 図する(30分)
4 .	第1章 人と生まれて	予習 予 習 復習	39 3 (30カ) 習:テキストを読む(30分) 習:授業を振り返り、疑問点 3する(30分)
5 .	第2章 発心	- 予習 - 一 一	39 0 (30カ) 3:テキストを読む(30分) 3:授業を振り返り、疑問点 3する(30分)
6 .	第2章 発心	予習 復習	3:テキストを読む(30分) 3:授業を振り返り、疑問点
7.	第3章 道を求めて(1) 懸命の修学	- 予習 - 予習 - 復習	3する(30分) 3:テキストを読む(30分) 3:授業を振り返り、疑問点 3する(30分)
8 .	第3章 道を求めて(1) 懸命の修学	予習 を 習	マンション 冒:テキストを読む(30分) 冒:授業を振り返り、疑問点 忍する(30分)
9 .	第4章 道を求めて(2) 六角堂参籠	予習 を 習	マンス・スティック (30分) 日: テキストを読む(30分) 日: 授業を振り返り、 疑問点 日本の(30分)
10.	第4章 道を求めて(2) 六角堂参籠	- 予習 - 一 予習 - 1 復習	3: テキストを読む(30分) 3: 授業を振り返り、疑問点 3する(30分)
11 .	第5章 本願に帰す	予習 復習	3: テキストを読む(30分) 3: 授業を振り返り、疑問点 3する(30分)
12 .	第5章 本願に帰す	予 後 1	3: テキストを読む(30分) 3: 授業を振り返り、疑問点 3する(30分)
13 .	第5章 本願に帰す	予 予 復	3: テキストを読む(30分) 3: 授業を振り返り、疑問点 3する(30分)
14 .	到達目標確認試験	予 習 復習	3: テキストを読む(30分) 3: 授業を振り返り、疑問点 3する(30分)
15 .	前期のまとめ	予習 後 習	3:テキストを読む(30分) 3:授業を振り返り、疑問点 3する(30分)
科書	『真宗聖典』、『宗祖親鸞聖人』、『親鸞聖人行実』		·
考書	『親鸞 生涯と教え』 宮城 顗『宗祖聖人親鸞: 生涯とその教え (上)』		
成果の	受講態度(50%) 到達目標確認試験(50%)		
<u>画方法</u> すべき			

科目	真宗史		1年後期 必修、専門科目
担当者	武井弥弘	授業形態 単位数	演習 1単位
受業概要	親鸞は、平安時代末期から鎌倉時代にかけて90年の生涯を送った。では、ど添いながら、親鸞の生涯と教えについて学ぶ。各章担当を決めて発表する。本授業は仏教学科の学習成果(5)に対応する。	のような生涯を送った	는のか。『宗祖親鸞聖人』に
達目標	発表・質疑応答を通して、親鸞の生涯が理解できるようになる。 本授業によって、仏教学科の学習成果(5)を得ることができる。		
習成果の ² 価基準	授業での発表・質疑応答を「受講態度」の評価とする。 到達目標に達しているか確認するために、到達目標確認試験を行い評価する	9 o	
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習
1 .	第6章 法難	予2 復2 確診	3: テキストを読む(30分) 3: 授業を振り返り、疑問点 3する(30分)
2.	第6章 法難	予習	習: テキストを読む(30分) 習: 授業を振り返り、疑問点 恐する(30分)
3 .	第7章 民衆にかえる	予習	3 : テキストを読む(30分) 習: 授業を振り返り、疑問点 忍する(30分)
4 .	第7章 民衆にかえる	予習 復習	8: テキストを読む(30分) 3: テキストを読む(30分) 3: 授業を振り返り、疑問点 3する(30分)
5.	第8章 大悲に生きる(1)愚者になりて	予習	習:テキストを読む(30分) 習:授業を振り返り、疑問点
6 .	 第8章 大悲に生きる(1)愚者になりて 	予習 復習	図する(30分) 習:テキストを読む(30分) 図:授家を振り返り、疑問点
7 .	第8章 大悲に生きる(2)正定聚に住す	予習	8する(30分) 習:テキストを読む(30分) 習:授業を振り返り、疑問点 忍する(30分)
8 .	第8章 大悲に生きる(2)正定聚に住す	予2 復2	39 3 (30ガ) 習:テキストを読む(30分) 習:授業を振り返り、疑問点 忍する(30分)
9 .	第8章 大悲に生きる(5)善鸞義絶	予2 復2	39 3 (30分) 3: テキストを読む (30分) 3: 授業を振り返り、疑問点 3する (30分)
10 .	第8章 大悲に生きる(5)善鸞義絶	予習	3: テキストを読む(30分) 3: テキストを読む(30分) 3: 授業を振り返り、疑問点 3する(30分)
11 .	第9章 仏道に捧ぐ	予2 復2	89 3 (30カ) 習:テキストを読む(30分) 習:授業を振り返り、疑問点 忍する(30分)
12 .	第9章 仏道に捧ぐ	予2 復2	89 0 (30万) 習:テキストを読む(30分) 習:授業を振り返り、疑問点 忍する(30分)
13 .	第9章 仏道に捧ぐ	予習	89 る(30万) 習:テキストを読む(30分) 習:授業を振り返り、疑問点 忍する(30分)
14 .	到達目標確認試験	予 習 復 習	習:テキストを読む(30分) 習:授業を振り返り、疑問点
15 .	後期のまとめ	予2 復2	3する(30分) 2:テキストを読む(30分) 3:授業を振り返り、疑問点 3する(30分)
科書	『真宗聖典』、『宗祖親鸞聖人』、『親鸞聖人行実』	14 世 前	(ITAN) P. 4 M
考書	『親鸞 生涯と教え』 宮城 顗『宗祖聖人親鸞: 生涯とその教え (下)』 受講態度(50%) 到達目標確認試験(50%)		
<u>価方法</u> ごすべき			
項 問· 相 等 受付			

			T			
科目	地域と仏教	開講時期 履修方法	1 年前期 選択、専門科目			
担当者	溝邊 伸	授業形態 単位数	演習 1単位			
授業概要	「教化」とは何か。そして、「僧侶」、「真宗大谷派教師」、「寺院」とは何か。 これらのことを、言葉の意味だけでなく、近隣寺院の様々な取り組みを通して、実践的に学ぶ。 本授業は仏教学科の学習成果(4)に対応する。					
到達目標	寺院の具体的な取り組みを通して、「地域と仏教」について理解できるようになる。					
学習成果 <i>0</i> 評価基準	・授業や課外授業における受講態度、課題へ取り組む姿勢を通して評価する。 ・レポート作成を通して、到達目標への理解を確認し評価する。 基準					
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習			
1.	シラバスを通して授業概要と到達目標を確認する。 (自己紹介と座談)	予習 復習 分)	3:シラバスを読む(30分) 3:学習内容を振り返る(30			
2 .	教化とは (釈尊・親鸞・蓮如の教化を俯瞰し、教化の基礎を理解する)	予習 分)	3:配布プリントを読む(30 復習:授業内容を振り返る 0分)			
3 .	寺院とは 僧侶とは (寺院と僧侶の成り立ちから今日の役割までを理解する)	予習 分)	31. 31.配布プリントを読む (30 復習:授業内容を振り返る 0分)			
4 .	真宗大谷派教師とは:ゲストスピーカー (真宗大谷派教師について、ゲストスピーカにより学ぶ)	予習 分)	31. 31. 配布プリントを読む (30 復習:授業内容を振り返る 0分)			
5 .	地域社会と寺院の課題 (地域社会と共にある寺院のあり方の変遷と課題を理解する)	予習 分)	マスカー 習:配布プリントを読む(30 復習:授業内容を振り返る 0分)			
6 .	地域社会と寺院の課題 (地域社会と共にある寺院のあり方の変遷と課題を理解する)	予習 分)	30 31 配布プリントを読む (30 復習:授業内容を振り返る 0分)			
7.	寺院の取り組みを聞く : ゲストスピーカー (地域と寺院の課題、教化について、ゲストスピーカーに聞く)	予習 分)	3. 配布プリントを読む (30 復習:授業内容を振り返る 0分)			
8 .	寺院の取り組みを聞く : ゲストスピーカー (地域と寺院の課題、教化について、ゲストスピーカーに聞く)	予習 分)	3. 配布プリントを読む(30 復習:授業内容を振り返る 0分)			
9 .	実践的な寺院の取り組み 【課外授業 :法要を学ぶ】 (寺院の法要がどのように開かれているのかを理解する)	予習 分)	習:配布プリントを読む(30 復習:授業内容を振り返る 0分)			
10 .	実践的な寺院の取り組み 【課外授業 :法要を学ぶ】 (寺院の法要がどのように開かれているのかを理解する)	分)	習:配布プリントを読む(30 復習:授業内容を振り返る 0分)			
11 .	実践的な寺院の取り組み 【課外授業 :聞法会を学ぶ】 (聞法会がどのように開かれているのかを理解する)	分) (30	3:配布プリントを読む(30 復習:授業内容を振り返る 0分)			
12 .	実践的な寺院の取り組み 【課外授業 : 聞法会を学ぶ】 (聞法会がどのように開かれているのかを理解する)	予習 分)	3:配布プリントを読む(30 復習:授業内容を振り返る 0分)			
13 .	実践的な寺院の取り組み 【課外授業 :こども会を学ぶ】 (寺院の子ども会がどのように開かれているのかを理解する)	分)	31:配布プリントを読む(30 復習:授業内容を振り返る 0分)			
14 .	実践的な寺院の取り組み 【課外授業 :こども会を学ぶ】 (寺院の子ども会がどのように開かれているのかを理解する)	予習 分) (30	習:配布プリントを読む(30 復習:授業内容を振り返る 0分)			
15 .	まとめ		を振り返り、レポートを作成			
教科書	随時、プリントを配布する。					
	『真宗の教えと宗門の歩み』(東本願寺出版)、「仏教に関する実態把握調査」(全日本仏教界)、「教勢調査」(真宗大谷派)、『子ども会開設の手引き ひとりからはじめる子ども会』(真宗大谷派青少幼年センター) D 授業態度(40%) 課題への取り組み姿勢(30%) レポート(30%)					
評価方法	ま 課題授業は、基本的に2コマ連続となる。					
事 項 質問・相談 の 受 付	授業内、メール等で受け付ける。					

科目	地域と福祉	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	塚本真由美・中島 航	授業形態 単位数	演習 1単位
受業概要	福祉的視点で地域について学ぶ。また、地域における寺院の役割についても学ぶまたグリーフケアについても学び、僧侶が関わる人のこころを学ぶ。本授業は仏教学科の学習成果(4)に対応する。		
]達目標	地域における福祉、地域における寺院の福祉的役割、さらにグリーフケアの学でし、地域へ積極的に関わろうとする思考と態度を身につけることができる。	がを通して「地域で	で生活する人」について理解
習成果の 平価基準	・授業態度と各授業内課題へ取り組む姿勢を通して評価する。 ・随時、小レポートを通して、授業の理解度を確認し、評価する。		
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習
1 .	「地域と福祉」について (シラバスを通して、授業内容と目的について理解する)	予習 復習 分)	:シラバスを読む(30分) :授業内容を振り返る(30
2 .	グリーフの学び グリーフの学び基礎(講義前半)	予習	:テキストを読む(30分) :授業内容を振り返る(30
3 .	グリーフの学び グリーフの学び基礎(講義後半)	予習	:テキストを読む(30分) :授業内容を振り返る(30
4 .	グリーフの学び グリーフの学びについて考える座談	予習	:テキストを読む(30分) :授業内容を振り返る(30
5 .	グリーフの学び 【ゲストスピーカー】 臨床心理士から傾聴について学ぶ	予習	:配布資料を読む(30分) :授業内容を振り返る(30
6 .	グリーフの学び 僧侶と遺族のロールプレイ グループに分かれてシナリオに基づいたロールプレイを行う	予習	:配布資料を読む(30分) :授業内容を振り返る(30
7.	グリーフの学び 亡くなりゆく人とその家族の気持ちについて学ぶ	予習	:配布資料を読む(30分) :授業内容を振り返る(30
8 .	地域福祉における寺院の役割を学ぶ	予習	:配布資料を読む(30分) :授業内容を振り返る(30
9.	地域福祉における寺院の役割を学ぶ	予習	:配布資料を読む(30分) :授業内容を振り返る(30
10 .	地域の福祉について学ぶ	予習を選択している。	:配布資料を読む(30分) :授業内容を振り返る(30
11 .	地域の福祉について学ぶ	予習	:配布資料を読む(30分) :授業内容を振り返る(30
12 .	地域の福祉について学ぶ (課外授業の事前準備)	予習している。	:配布資料を読む(30分) :授業内容を振り返る(30
13 .	地域の福祉について学ぶ (課外授業の事前準備)	予習	:配布資料を読む(30分) :授業内容を振り返る(30
14 .	福祉活動実践(課外授業) 【地域デイサービスへの参加】	予習	:配布資料を読む(30分) :授業内容を振り返る(30
15 .	福祉活動実践(課外授業) 【地域デイサービスへの参加】	予習	:配布資料を読む(30分) :授業内容を振り返る(30
数科書	『真宗僧侶とグリーフ』(東本願寺) 授業内で配布する。 その他は、随時、プリントを配布する。	1	
考書 習成果の	授業態度(30%) 授業課題への取り組み姿勢(40%) レポート(30%)		
価方法			

科目	'' ' '	開講時期 夏修方法	1 年後期 選択、専門科目			
担当者	本 12 /13 / L	受業形態 単位数	講義 2単位			
授業概要	キリスト教探訪 聖書(旧約および新約)に伝承されている有名な物語や比喩(たとえて、報観し、その教えの基礎にあるものを学びたい。一見すると仏教・真宗と大きく異なり、もしれない。だがそこで問題とされている事がらそれ自体を注意深く観察すれば、宗教にテーマが必ず取り扱われていることに気がつくであろう。このテーマについて各自の視点本授業は仏教学科の学習成果(6)に対応する。	話)を追 荒唐無和 おいてク	ー・ー 通して、キリスト教の世界を 嘗なことのように思われるか でくことのできない重要な			
到達目標	膨大な量のキリスト教の聖書をくまなく講義することは、限られた時間と私の能力ではとても不可能である。よって私がこれまで慣れ親しんできて特に印象に残っている文章と言葉を拾い集めてまず紹介したい。これらの言葉たちが受講生の人たちの頭の片隅にでも残って、あるときふと思い出して、本棚の奥に隠れていた聖書が再び日の目を見ることがあれば素敵である。					
学習成果の 評価基準						
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習			
1 .	オリエンテーション(挨拶・自己紹介)、授業概要、「天地創造」。全知全能の絶対神と ての神と被造物としての人。男と女。	: し 予習 復習	留:教科書を読む(30分) 習:授業の振り返り(30分)			
2 .	「蛇の誘惑」「アベルとカイン」。善悪の起源。男女の立場。最初の殺人。罪人として生 る。	き 予習 復習	3:教科書を読む(30分) 3:授業の振り返り(30分)			
3 .	「ノアの方舟」「パベルの塔」。後悔する神。破戒の神。再生する神。契約。	予習 復習	3:教科書を読む(30分) 3:授業の振り返り(30分)			
4 .	「ソドムの滅亡」「アプラハム、イサクをささげる」。怒りの神。救済する神。試みる神	·····································	習:教科書を読む(30分) 習:授業の振り返り(30分)			
5 .	モーセの十戒、旧約聖書を見渡して。人格神。人間と契約する神。律法を守り常に義をつ す人となること。	ンく 予習 復習	習:教科書を読む(30分) 習:授業の振り返り(30分)			
6.	イエスの誕生。誕生以前。受胎告知。処女懐妊。当時のパレスチナ。ナザレのイエス。	·····································	習:教科書を読む(30分) 習:授業の振り返り(30分)			
7.	「悪魔の誘惑」。降魔と正覚。誘惑を拒絶したイエスと誘惑に負ける私たち。	予 習	習:教科書を読む(30分) 習:授業の振り返り(30分)			
8 .	「山上の説教」。イエスの説法。教えの「過激さ」と人の覚醒。原理主義。	予習 復習	冒: 教科書を読む (30分) 冒: 授業の振り返り (30分)			
9 .	奇跡物語。単なる空想話で終わらせるのでなく、この「物語」でもって私たちは何を学へ のか。何が言いたいのであろうか。		3:教科書を読む(30分) 3:授業の振り返り(30分)			
10 .	隣人とは誰か? ユダヤ人とサマリア人。ファリサイ派の人たちの試み。隣人愛と無償の 愛。) 予習 復習	冒:教科書を読む(30分) 冒:授業の振り返り(30分)			
11 .	長血の女性/罪なき人が石を投げよ。穢れ。禁忌。救いを獲得するということ。人を裁く いうこと。	と 予習 復習	冒:教科書を読む(30分) 冒:授業の振り返り(30分)			
12 .	見失った羊 / 放蕩息子。誰が救われるのか。救われたいのは誰か。悪人正機。	予習 復習	3:教科書を読む(30分) 3:授業の振り返り(30分)			
13 .	ラザロの復活。イエスの怒り、イエスの涙。「わたしを信じる者は死んでも生きる」	·····································	習:教科書を読む (30分) 習:授業の振り返り (30分)			
14 .	イエスの逮捕/パウロ、三度否と言う。イエスは弟子に理解されず、見捨てられ、裏切られ、孤独のまま引き渡される。	·····································	習:教科書を読む (30分) 習:授業の振り返り (30分)			
15 .	イエスの死と復活。十字架の意味。イエスを殺したのは誰か。「花びらは散っても花は散 ない」		3:教科書を読む(30分) 3:授業の振り返り(30分)			
教科書	新共同訳『聖書』を主とするが、他の訳でもかまわない。ただし、新約だけのものは除外。					
参考書	『福音書をよむ旅』(井上洋治著、NHK出版)、『釜ヶ崎と福音』(本田哲郎著、岩波書店)					
学習成果の 評価方法	授業出席(40%) 授業中の学び(30%) 定期試験(30%)					
特記すべき 事 項	真宗聖典(大谷派)を持参する。					
質問・植の受付	授業中に限らず可					

科目	人権論	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	木屋行深		講義 2単位
授業概要	人間の解放を課題にしている方々に直接出会い、話を聞くことで、人権感覚本授業は仏教学科の学習成果(6)に対応する。		<u> - </u>
到達目標	一人の人間に深く出会おうとする。気づき、意欲を持てるようになる。		
学習成果の 評価基準	 他者もしくは自己についての気づき(悲しみ)を評価するため、定期試験 	(レポート)を実施する	პ .
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習
1.	人権とは何か(基礎学習)	予 予 ²	3:授業要覧を読む(2時間) 3:授業内容を振り返る(2時
2 .	 人権とは何か(基礎学習) 	間)	習:配付資料を読む(2時間) 習:授業内容を振り返る(2時
3 .	オリエンテーション 自己の課題について確認(1)	予習	:配付資料を読む(2時間) :授業内容を振り返る(2時
4 .	オリエンテーション 自己の課題について確認(2)	***************************************	3:配付資料を読む(2時間) 3:授業内容を振り返る(2時
5 .	部落解放部門 特別講義 ジェンダーについて	予習	3:配付資料を読む(2時間) 3:授業内容を振り返る(2時
6 .	上記講義の確認・復習	予 予 復	3:配付資料を読む(2時間) 3:授業内容を振り返る(2時
7 .	部落解放部門 特別講義 部落問題について	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	智:配付資料を読む(2時間) 習:授業内容を振り返る(2時
8 .	上記講義の確認・復習	予習	3:配付資料を読む(2時間) 3:授業内容を振り返る(2時
9 .	部落解放部門 特別講義 ハンセン病問題について	予習	3:配付資料を読む(2時間) 3:授業内容を振り返る(2時
10 .	上記講義の確認・復習	予習	3:配付資料を読む(2時間) 3:授業内容を振り返る(2時
11 .	全国水平社の創立とその精神	- 予 読む	習:『部落問題学習資料集』で 〕(2時間) 復習:授業内容 張り返る(2時間)
12 .	全国水平社の創立とその精神	予習し続き	37 <u>200 (200日)</u> 習:『部落問題学習資料集』を 〕(2時間) 復習:授業内容 最り返る(2時間)
13 .	「米田富の怒り」について	- 予 読む	37000(2时間) 習:『部落問題学習資料集』で 〕(2時間) 復習:授業内容 最り返る(2時間)
14 .	異るを歎く	予習し続き	37 <u>200 (2</u> 5月月) 3:『部落問題学習資料集』で 3(2時間) 復習:授業内容 表り返る(2時間)
15 .	まとめ	- 予 読む	Xソ巡る(2時間) 習:『部落問題学習資料集』を 〕(2時間) 復習:授業内容 表り返る(2時間)
教科書	『部落問題学習資料集』	-C 3//	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
参考書	□注纸中 / 400/ \ □ 中田→+FA / 200/ \		
学習成果の 評価方法 持記すべき	受講態度(10%) 定期試験(90%) 		
事項 調・相等			

科目			1年前期 選択、専門科目			
担当者	渡邊弘宣	授業形態 単位数				
授業概要	「声明作法 」では、真宗大谷派の儀式執行の行儀の習得を目的としている。「正信偈・念佛讃・和讃・御文」を繰り返し演習しながら、「勤行作法」「荘厳作法」「装束作法」の基本を学ぶ。 主に「正信偈草四句目下念佛讃淘三御文同朋奉讃式」の読み方を学ぶ。					
到達目標	聖教の言葉を大事にしつつ、教えを唱和している事の大切さを感じることができるようになる。 正確に読めるようになる。 本授業によって、仏教学科の学習成果 を得ることができる。					
学習成果の 評価基準	到達目標に明示している「言葉を大事にする」「教えを唱和する」「正確に読む」の到 を実施して評価する。	達度を測る	るために、到達度確認のテスト			
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習			
1 .	自己紹介 声明概説「真宗の儀式について」「平常のお勤めと荘厳・給仕について」	予習 復習 分)	智:声明集に目を通す(30分) 図:教材確認、授業の復習(30			
2 .	正信偈「真 行 草」草四句目下を中心として「キンの心得」「同朋奉讃式」	予習	習:声明集に目を通す(30分) 習:教材確認、授業の復習(30			
3 .	正信偈「真 行 草」草四句目下を中心として「同朋奉讃式」	予習 復習	習:声明集に目を通す(30分) 習:教材確認、授業の復習(30			
4 .	4正信偈「真 行 草」草四句目下を中心として「念佛讚淘三」 三帖和讃「和讃のお勤め」(浄土和讃を中心に)	復習	習:声明集に目を通す(30分) 習:教材確認、授業の復習(30			
5 .	正信偈「真 行 草」草四句目下を中心として「念佛讚淘三」 三帖和讃「和讃のお勤め」(浄土和讃を中心に)	復習	習:声明集に目を通す(30分) 習:教材確認、授業の復習(30			
6 .	正信偈「真 行 草」草四句目下を中心として「念佛讚淘三」 三帖和讃「和讃のお勤め」(浄土和讃を中心に)	復習	冒:声明集に目を通す(30分) 冒:教材確認、授業の復習(30			
7.	正信偈「真 行 草」草四句目下を中心として「念佛讚淘三」 三帖和讃「和讃のお勤め」(浄土和讃を中心に)	分) 予習 復習 分)	習:声明集に目を通す(30分) 習:教材確認、授業の復習(30			
8 .	正信偈「真 行 草」草四句目下を中心として「念佛讚淘三」 三帖和讃「和讃のお勤め」(浄土和讃を中心に)	予習	習:声明集に目を通す(30分) 習:教材確認、授業の復習(30			
9 .	正信偈「真 行 草」草四句目下を中心として「念佛讚淘三」 三帖和讃「和讃のお勤め」(浄土和讃を中心に)	予習	習:声明集に目を通す(30分) 習:教材確認、授業の復習(30			
10 .	正信偈「真 行 草」草四句目下を中心として「念佛讚淘三」 三帖和讃「和讃のお勤め」(浄土和讃を中心に)	予習	習:声明集に目を通す(30分) 習:教材確認、授業の復習(30			
11 .	正信偈「真 行 草」草四句目下を中心として「念佛讚淘三」 三帖和讃「和讃のお勤め」(浄土和讃を中心に)御文について「五帖目(基本)」	予習	習:声明集に目を通す(30分) 習:教材確認、授業の復習(30			
12 .	正信偈「真 行 草」草四句目下を中心として「念佛讚淘三」 三帖和讃「和讃のお勤め」(浄土和讃を中心に)御文について「五帖目(基本)」	予習	習:声明集に目を通す(30分) 習:教材確認、授業の復習(30			
13 .	正信偈「真 行 草」草四句目下を中心として「念佛讚淘三」 三帖和讃「和讃のお勤め」(浄土和讃を中心に)御文について「五帖目(基本)」	予習	習:声明集に目を通す(30分) 習:教材確認、授業の復習(30			
14 .	正信偈「真 行 草」草四句目下を中心として「念佛讚淘三」 三帖和讃「和讃のお勤め」(浄土和讃を中心に)御文について「五帖目(基本)」	予習 復習	習:声明集に目を通す(30分) 習:教材確認、授業の復習(30			
15 .	正信偈「真 行 草」草四句目下を中心として「念佛讃淘三」 三帖和讃「和讃のお勤め」(浄土和讃を中心に)御文について「五帖目(基本)」	分) 予習 復習 分)	習:声明集に目を通す(30分) 習:教材確認、授業の復習(30			
教科書	『大谷声明集』、『御文稽古本』、『真宗の儀式』					
参考書	□ 芸能 府 (2004) 法 市 府 (2004) 中 (1204)					
評価方法特記すべき	受講態度(20%) 達成度確認(20%) 定期試験(60%)					
事項						

科目	声明作法	開講時期 履修方法	1 年後期 選択、専門科目			
担当者	渡邉弘宣	授業形態 単位数				
授業概要	「声明作法 」では、真宗大谷派の儀式執行の行儀の習得を目的としている。「正信偈・念佛讃・和讃・御文」を繰り返し演習しながら、「勤行作法」「荘厳作法」「装束作法」の基本を学ぶ。 主に「正信偈真四句目下念佛讃淘五御文」の読み方を学ぶ。					
到達目標	聖教の言葉を大事にしつつ、教えを唱和している事の大切さを感じることができるように正確に読めるようになる。 本授業によって、仏教学科の学習成果 を得ることができる。	こなる。				
学習成果の 評価基準	到達目標に明示している「言葉を大事にする」「教えを唱和する」「正確に読む」の到 を実施して評価する。	達度を測る	るために、到達度確認のテスト			
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習			
1 .	前期の復習 正信偈「真 行 草」草四句目下を中心として「念佛讃淘三 御文 同朋奉讃式」	予習 復習 分)	: 声明集に目を通す(30分) : 教材確認、授業の復習(30			
2.	前期の復習 正信偈「真 行 草」草四句目下と真四句目下について	予習 復習 分)	官:声明集に目を通す(30分) 冒:教材確認、授業の復習(30			
3 .	前期の復習 念佛讃「淘三と淘五」について 平常の荘厳とお給仕について	予習	日:声明集に目を通す(30分) 日:教材確認、授業の復習(30			
4.	報恩講について 正信偈「真 行 草」真四句目下を中心として「念佛讚淘五」 三帖和讃「和讃のお勤め」(報恩講和讃を中心に)	予習	日:声明集に目を通す(30分) 日:教材確認、授業の復習(30			
5.	正信偈「真 行 草」真四句目下を中心として「念佛讚淘五」 三帖和讃「和讃のお勤め」(報恩講和讃を中心に)	予習 復習 分)	日:声明集に目を通す(30分) 日:教材確認、授業の復習(30			
6.	正信偈「真 行 草」真四句目下を中心として「念佛讚淘五」 三帖和讃「和讃のお勤め」(報恩講和讃を中心に)	予習	冒:声明集に目を通す(30分) 冒:教材確認、授業の復習(30			
7.	正信偈「真 行 草」真四句目下を中心として「念佛讚淘五」 三帖和讃「和讃のお勤め」(報恩講和讃中心に)「報恩講伽陀」	予習	日:声明集に目を通す(30分) 日:教材確認、授業の復習(30			
8.	正信偈「真 行 草」真四句目下を中心として「念佛讃淘五」 三帖和讃「和讃のお勤め」(報恩講和讃を中心に)「報恩講伽陀」	予習	習:声明集に目を通す(30分) 習:教材確認、授業の復習(30			
9.	正信偈「真 行 草」真四句目下を中心として「念佛讚淘五」 三帖和讃「和讃のお勤め」(報恩講和讃を中心に)「報恩講伽陀」	予習	習:声明集に目を通す(30分) 習:教材確認、授業の復習(30			
10 .	正信偈「真 行 草」真四句目下を中心として「念佛讚淘五」 三帖和讃「和讃のお勤め」(報恩講和讃を中心に)「報恩講伽陀」	予習	習:声明集に目を通す(30分) 図:教材確認、授業の復習(30			
11 .	装束作法について	予習	3: 声明集に目を通す(30分) 3: 教材確認、授業の復習(30			
12 .	正信偈「真 行 草」真四句目下を中心として「念佛讚淘五」 三帖和讃「和讃のお勤め」(報恩講和讃中心に)「報恩講伽陀」	予習	日:声明集に目を通す(30分) 日:教材確認、授業の復習(30			
13 .		予習	:声明集に目を通す(30分) 3:教材確認、授業の復習(30			
14 .		予習 復習	留:声明集に目を通す(30分) 図:教材確認、授業の復習(30			
15 .		分) 予習 復習 分)	習:声明集に目を通す(30分) 習:教材確認、授業の復習(30			
教科書	『大谷派声明集』、『御文稽古本』、『真宗の儀式』					
参考書 学習成果の	受講態度(20%) 達成度確認(20%) 定期試験(60%)					
<u>評価方法</u> 特記すべき 事 項						
野・棋舞 の 受 付						

科目	↑ 7 π / <i>Γ</i> □ √Ξ ⋅ Ξ ⋅ 3 3	講時期	1年前期			
11 🗆	n.		必修、専門科目 			
担当者		受業形態 単位数	演習 1単位			
授業概要	1、2年生合同で、「夏の法要」に向けた企画・学習・準備などを行い、計画に基づいて実施する。共同して一つの法要に取り組んでいくことを通して、現場に応ずる学びを深めていく。本授業は仏教学科の学習成果(8)に対応する。					
到達目標	法要の概要や目的を理解することができる。 協働して法要を勤めることができるようになる。					
学習成果の 評価基準	「法要概要や目的を理解することができる」の達成度を測るために、到達度確認テスト(授業での積極的なグループ活動(法要の企画、学習、準備など)を「受講態度」の評価とができるようになる」の達成度を測る。	期末レī :し、「!	ポート)を実施し評価する。 協働して法要を勤めることが			
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習			
1 .	ガイダンス 概要の確認と係の決定	予習 復習 分)	: シラバスを読む(30分) : 授業の内容を振り返る(30			
2 .	事前準備 法要の企画を行う(1)	予習	: 係ごとの話し合い(30分) : 授業の内容を振り返る(30			
3.	事前準備 法要の企画を行う(2)	予習	: 係ごとの話し合い(30分) : 授業の内容を振り返る(30			
4 .	事前準備 法要の学習を考える(1)	予習	:係ごとの話し合い(30分) :授業の内容を振り返る(30			
5.	事前準備 法要の学習を考える(2)	予習	:係ごとの話し合い(30分) :授業の内容を振り返る(30			
6.	事前準備 勤行の練習をする(1)	予習	:係ごとの話し合い(30分) 3:授業の内容を振り返る(30			
7.	事前準備 勤行の練習をする(2)	予習	【:係ごとの話し合い(30分) 【:授業の内容を振り返る(30			
8 .	事前準備 勤行の練習をする(3)	予習	:係ごとの話し合い(30分) 3:授業の内容を振り返る(30			
9.	事前準備 法要の準備を行う(1)	予習	:係ごとの話し合い(30分) 3:授業の内容を振り返る(30			
10 .	事前準備 法要の準備を行う(2)	予習 復習 分)	: 係ごとの話し合い(30分) : 授業の内容を振り返る(30			
11 .	事前準備 法要の準備を行う(3)	予習 復習 分)	: 係ごとの話し合い(30分) : 授業の内容を振り返る(30			
12.	事前準備 法要のリハーサルを行う	予習 復習 分)	: 係ごとの話し合い(30分) : 授業の内容を振り返る(30			
13 .	夏の法要 讃歌(真宗宗歌、回向、恩徳讃)、勤行(「正信偈」草四句目下、念仏讃 三淘)、学習 表、講話など	発 備を	: 夏の法要の要項をもとに準 行う(30分) 復習:授業の を振り返る(30分)			
14 .	夏の法要 讃歌(真宗宗歌、回向、恩徳讃)、勤行(「正信偈」草四句目下、念仏讃 三淘)、学習 表、講話など	発 備を 内容	3:夏の法要の要項をもとに準 行う(30分) 復習:授業の を振り返る(30分)			
15 .	事後総括 法要を総括する	分)	3: 夏の法要を振り返る (30 復習: 授業の内容を振り返 30分)			
教科書	なし	•				
参考書	適宜、資料を配布する					
学習成果の 評価方法 特記すべき	受講態度(70%) その他【期末レポート】(30%) 					
事 項	授業前後に、授業場所あるいは学修支援室にて受け付ける また、電話、メール等でも受け付ける					

科目	70.10 = 32	用講時期 覆修方法	1年後期 必修、専門科目			
担当者		授業形態	演習			
授業概要	単位数 1単位 1単位数 1単位 1、2年生合同で、仏教学科報恩講(冬の法要)に向けた企画・学習・準備などを行い、計画に基づいて実施する。事前準備・法要を通して、1年間あるいは2年間の学びを総括する。本授業は仏教学科の学習成果(8)に対応する。					
到達目標	法要の概要や目的を理解することができる。 協働して法要を勤めることができるようになる。					
学習成果の 評価基準	「法要概要や目的を理解することができる」の達成度を測るために、到達度確認テスト 授業での積極的なグループ活動(法要の企画、学習、準備など)を「受講態度」の評価ができるようになる」の達成度を測る。	(期末レī とし、「†	ポート)を実施し評価する。 劦働して法要を勤めることが			
	授業計画(授業内容)		授業時間外学習 予習・復習			
1 .	ガイダンス 概要の確認と係の決定	予習 復習 分)	3:シラバスを読む(30分) 3:授業の内容を振り返る(30			
2 .	事前準備 法要の企画を行う(1)	予習	習:係ごとの話し合い(30分) 習:授業の内容を振り返る(30			
3 .	事前準備 法要の企画を行う(2)	予習 復習	習:係ごとの話し合い(30分) 習:授業の内容を振り返る(30			
4 .	事前準備 法要の学習を考える(1)	復習	習:係ごとの話し合い(30分) 習:授業の内容を振り返る(30			
5 .	事前準備 法要の学習を考える(2)	分) 予習 復習 分)	習:係ごとの話し合い(30分) 習:授業の内容を振り返る(30			
6 .		予習	3:係ごとの話し合い(30分) 3:授業の内容を振り返る(30)			
7.	事前準備 勤行の練習をする(2)	予習	冒:係ごとの話し合い(30分) 冒:授業の内容を振り返る(30			
8 .	事前準備 勤行の練習をする(3)	予習	習:係ごとの話し合い(30分) 習:授業の内容を振り返る(30			
9 .	事前準備 法要の準備を行う(1)	予習	3:係ごとの話し合い(30分) 3:授業の内容を振り返る(30			
10 .	事前準備 法要の準備を行う(2)	予習	冒:係ごとの話し合い(30分) 冒:授業の内容を振り返る(30			
11 .	事前準備 法要の準備を行う(3)	予習	習:係ごとの話し合い(30分) 習:授業の内容を振り返る(30			
12 .	事前準備 法要のリハーサルを行う	予習	3:係ごとの話し合い(30分) 3:授業の内容を振り返る(30)			
13 .	 仏教学科報恩講(冬の法要) 讃歌(真宗宗歌、回向、恩徳讃)、勤行(「正信偈」真四句目下、念仏讃 五淘)、学習 表、法話など	予習発 構を	3:冬の法要の要項をもとに準 行う(30分) 復習:授業の 家を振り返る(30分)			
14 .	仏教学科報恩講(冬の法要) 讃歌(真宗宗歌、回向、恩徳讃)、勤行(「正信偈」真四句目下、念仏讃 五淘)、学習 表、法話など	予習発 構を	3:冬の法要の要項をもとに準 行う(30分) 復習:授業の 家を振り返る(30分)			
15 .	事後総括 法要を総括する	予習 分)	3: 冬の法要を振り返る(30 復習:授業の内容を振り返 (30分)			
教科書	なし		-			
参考書	適宜、資料を配布する					
<u>評価方法</u> 特記すべき	受講態度(70%) その他【期末レポート】(30%)					
事 項	授業前後に、授業場所あるいは学修支援室にて受け付ける また、電話、メール等でも受け付ける					